

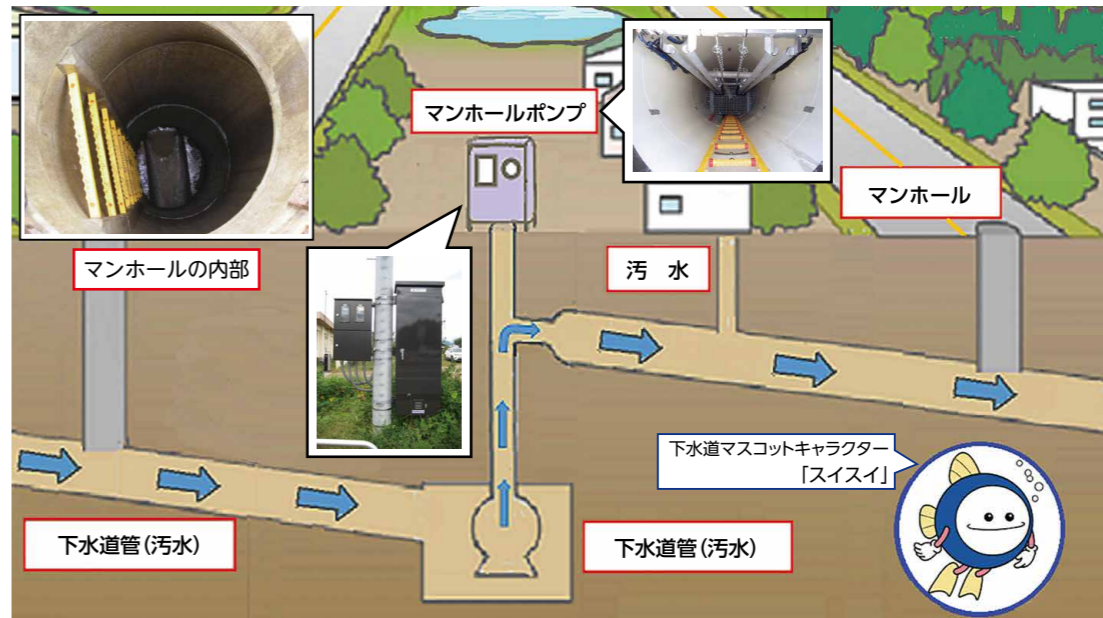
下水道ってどんなものなの？

問い合わせ
 下水道課
 ☎0287(37)8479

地中の下水道管は どうなっているの？

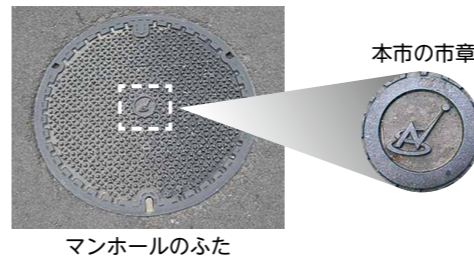
下水道管は、汚水が自然に流れていくように、傾斜をつけて埋設されています。このため、上流よりも下流の方が、管は深くなります。しかし、あまり管が深いところがあると、工事の費用もたくさんかかりますし、詰まったり壊れたりしたときに、管理が大変になってしまいます。

そこで、ある程度の深さになったら、一度ポンプで汚水をくみ上げて、傾斜をつけられるようにします。本市では、汚水のくみ上げは、マンホールポンプという小規模な施設で行っています。現在市内には、37か所のマンホールポンプがあります。



マンホールって 何だろう？

マンホールは、人（man）と穴（hole）を組み合わせた造語で、地下にある管を点検・掃除・修理するために設けられた作業用の出入り口のことです。管が合流したり、カーブするような詰



マンホールのふた

第2回目は、下水道管やマンホールなど、住まいの身近にある下水道施設のお話です。
 第1回目では、下水道は汚水を集めて処理場へ運ぶ道路と説明しました。今回は、下水道施設にどのような役割があるのか、それぞれの名前とついでに紹介します。

まりやすい場所や、下水道管の大きさにより一定間隔に設置してあります。
 また、マンホールのふたは表面がでこぼこしていますが、これは、マンホールの上を通行するときに滑りにくくするためです。

マンホールのふたの模様も種類がたくさんあって、観光名所や名物、ご当地キャラクターなど、自治体によってもさまざまです。楽しい絵柄がたくさんあります。全国的に観光PRにも活用されているんですよ。

みるひいのマンホール 知っていますか？



なんと！本市のキャラクターみるひいのマンホールが設置してある場所が1か所あります。

皆さんは見たことがあるでしょうか？まだ見たことのない人は、ぜひ一度探してみてください。場所は、次回の連載でお知らせします。お楽しみに。

マンホールを探すときは、まわりの安全をよく確認してね！

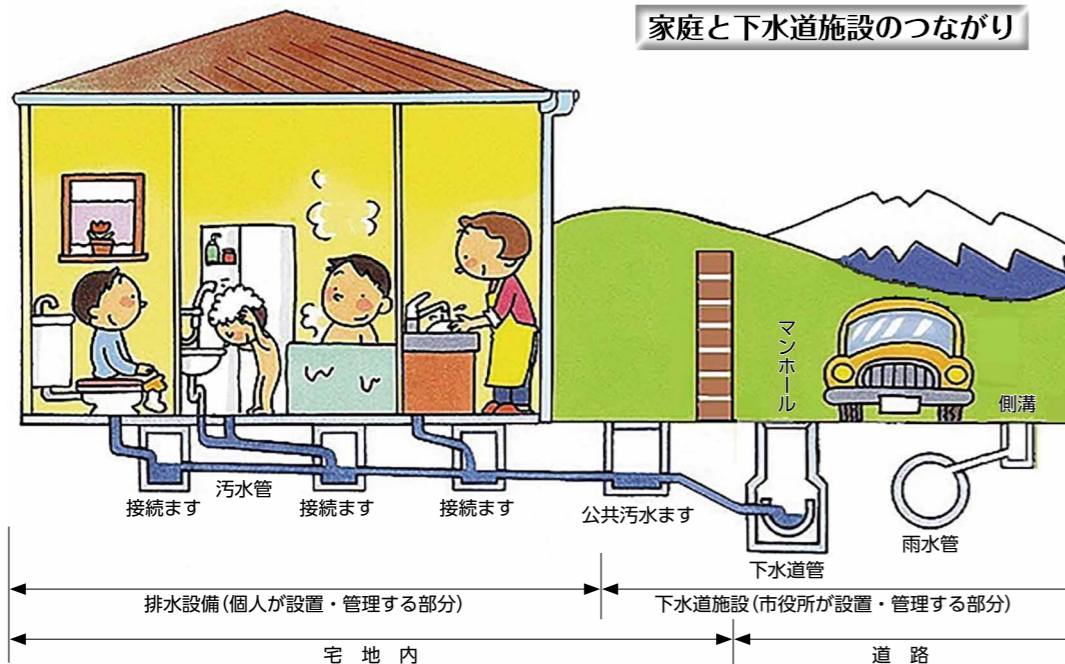


汚水や施設の管理について

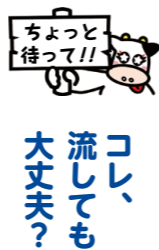
汚水を流す管は、宅地内にある「排水設備」と、「下水道施設」とに分かれます。

左の図で、下水道施設は「公共汚水ます」から下水道管側すべて

をいいます。「公共汚水ます」というのは、下水道管と宅地内の排水設備の接続点にあり、下水道施設のあるマンホールと同じく、管の点検や管理をするための大切なものです。



下水道施設については、市で設置や管理を行います。宅地内の排水設備については、すべて個人（所有者）の管理になります。



所でも野菜くずなどの固形物や油を流してしまうと、同じように管が詰まる原因になります。
 最近、このような原因で管やポンプが詰まる事故が多発しています。

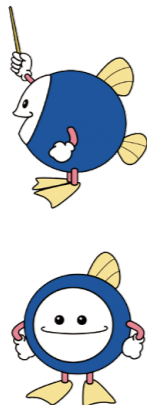
管が詰まると、マンホールから汚水があふれるだけでなく、家庭の排水口からも汚水が逆流してしまふこともあります。また、正しい使い方をしないと、管の寿命を縮めてしまいます。

流す前に、すこしだけ下水道のことを思い出してみてください。

スイスイの「これ、知ってる？」

マンホールのふたはなぜ丸いのか？

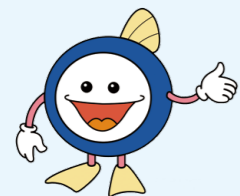
四角いふたと、ふちが欠けたり、斜めにずれると中へ落ちてしまったりすることがあるんだ。ふたが丸いと、欠けにくいし、ずれてもふたの直径がマンホールの直径よりも大きいから、中に落ちる心配がないんだよ。



日本と世界最古の下水道は？

下水道の起源は、紀元前2,000年頃のエジプト・ダラ遺跡にみられるそうだよ。日本の下水道の概念の登場は、弥生時代とされているよ。

下水道を 正しく 使いましょう



汚水があふれそうなマンホール



管に詰まっていた布類



紙類が詰まったポンプ

◆今回の「那須塩原市の下水道」は、処理場についてお知らせします。